

【評議員会議事録】

開催日時：2007年7月7日（土）13時～16時15分

開催場所：東京八重洲ホール902号会議室

出席者：安東，家，梅村，大橋，谷口，舘山，山本，井上，岡村，海部，郷田，中川，永田，宮川
以上14名

有効表決状提出者：池内，佐藤，柴田，須藤，渡部
以上5名

他に理事会から土佐理事長，國枝副理事長，花岡，高田，北本，田村理事及び東條事務長が出席した。議事に先立ち，議長に中川氏，署名人に井上，郷田両氏を選出した。

報 告

1. 前回議事録の確認

資料1に基づいて前回の議事録の確認が行われ，了承された。

2. 秋季年会，その他の年会について

高田庶務理事より，2007年度秋季年会の準備状況，及び2008年以降の年会開催地について，資料2に基づいて説明が行われた。

岐阜で開催予定の2007年秋季年会については準備は順調に進んでいるとの報告があった。また，2009年秋については山口大学，2010年秋については広島大学が受け入れを表明し，準備を進めている旨，報告された。

2010年春については現在京都大学に受け入れを打診中であるが，5回連続で西日本に開催地が偏っているという意見もあり，今後調整を更に進めるとの方針が示された。

3. その他

○ (1) 早川基金

北本会計理事より，資料3に基づいて早川基金の援助支給対象を現在の渡航費に限ったものから，より広い対象に緩和する（具体的には滞在費，参加登録費など）目的で内規の変更を現在考案中であり，示された現状の案についての議論をお願いしたいこと，次回の理事会，評議員会を経て決定する方針を承認してもらいたい旨報告があった。日当計算や支給査定の方法などの技術的な面については，応募者にわかりやすいように応募案内には明記すべきであるとの意見が出された。

また，現状行われている半額支給について議論があり，複数の委員より半額支給には問題があるので，今後の方針を早川基金選考委員会でよく議論して欲しい旨，意見があったことを伝えることが了承された。科研費との合算で全費用をまかなうようなことは現在まだできないこと，当初の内規改訂の目的は使用金額を増やすことはないが，対象費目は増やしたいということであった事が確認された。内規の改定としては評議員会としては賛成であり，今後の運用については早川基金選考委員会からの具体的なフィードバックを求めることで了承された。

○ (2) 学術会議「太陽系天体の名称等に関する検討小委員会」報告

学術会議「太陽系天体の名称等に関する検討小委員会」での議論，検討結果について小委員会委員長でもある海部氏より口頭で報告があった。2006年11月から活動を始めて，太陽系天体の概念整理と，その日本語名称についての第1報告と教育機関及び一般向け説明資料を含む第2報告を既に発表したこと，IAUに対して日本での検討結果を伝達する目的の，第3報告に向けて現在作業中であることなどが報告された。また，補足として花岡庶務理事より，今回の検討結果をわかりやすくまとめたポスター（各学校配布予定）とパンフレット（科学館などを通じて広く一般に配布）を作成中であり，学会からの援助については理事会で了承を得たこと，天文学会として上記2つについて学会としての活用方法について意見があれば出してもらいたい旨報告があった。

なお、報告書は学術会議のホームページからダウンロード可能であり、関係者に周知してもらいたい旨、あわせて要請があった。

○ (3) 百周年記念及び世界天文年展示について

國枝副理事長より、資料4に基づいて学会100周年記念及び世界天文年に関する展示企画について報告が行われた。当初は、100周年記念ということで2008年に展示を企画していたが、共同で開催する国立科学博物館との議論で2008年の開催は困難であることが判明したため、世界天文年にも絡めて2009年の第二四半期に開催予定で現在話を進めていること、費用が全体で1,500万円程度かかるので、国立科学博物館と共同で資金の調達を行っている点などが報告された。

実施に当たって、学会側の実施体制の確立が必須であり、委員会等の設置が必要であろうとの意見が出され、了承された。また、補足として海部氏より世界天文年日本委員会を立ち上げ中で、アジアでの取り組みについて強化の方向性で活動を考えている点、資金調達を行うための募金委員会を設置しようとしている点などが報告された。特に、資金援助の申し込みを複数の天文企画から同じ団体に申請することがないように、調整して資金調達に当たるべきであるとの認識が示された。

展示の内容についても、研究者の思考に偏らず、世界天文年のWGに参加している公開天文台、博物館等のスタッフのアイデアは豊富なので、合同チームを結成の方向で進めるべきであるとの意見が出され了承された。

○ (4) 学会ロゴについて

北本会計理事より資料5に基づいて、学会ロゴの審査結果について報告があった。最優秀賞1作品と優秀賞2作品を2回にわたる審査委員会において決定し、最優秀賞の作品について白黒色での商標登録を考えていることが報告された。例として示された青色で描かれたものが国立天文台のロゴマーク似ているとの指摘があり、議論の結果、色使いには少し考慮をして頂くということで了承した。また、優秀賞作品のうち的一件については学会百周年関連のイベント等での使用を考えている旨も報告され、使用許可を含めた契約についてきちんと話を進めるべきであるとのコメントがあった。なお、上記3作品の作者については、秋季年会中の総会に招待の予定であることも報告された。

○ (5) 記念切手発行について

北本会計理事より資料6に基づいて、学会100周年を記念して発行される記念切手について、郵政公社と行われた打ち合わせの報告がなされた。80円切手10枚（または12枚）で1セットとなるもので、現在デザインのアイデアを募集中である旨、報告された。

切手の販売等については今後、関連団体等とも相談しながら決めていく必要があるとの認識が示された。

○ (6) 天文教育施設に対する指定管理者制度導入に関して

花岡庶務理事より、資料7に基づいて、天文教育施設に対する指定管理者制度導入に関して天文教育普及研究会の松村会長から、その導入に反対する共同声明に天文学会も参加して欲しい旨の呼びかけが来ていることが報告された。施設の運営を民間に任せて効率をあげようという流れであり、博物館、科学館、プラネタリウムなどへの導入に対して危機感が持たれているものである。この件に対して学会側としても天文教育委員会において、人を選び対応を検討することが理事会で承認された事もあわせて報告された。この問題は天文だけではなく、物理等のより広い分野共通の問題であり、そのようなところとうまく連携しながら活動を広げるべきであるとの意見が多く委員より出された。

議 題

1. 2008年度事業計画書案

高田庶務理事より資料8に基づいて、2008年度事業計画書案が示された。事業内容としては特に問

題はないものの、100周年記念事業をはじめ、複数の項目について書きぶりを直す必要性が意見として出され、それらを反映するという条件付きで承認された。

2. 2008年収支予算書案

田村会計理事より資料9に基づいて、2008年度収支予算書案が示された。来年度は学会100周年という特別な年なので、大きな赤字が出ることを念頭に入れておく必要がある旨報告され、承認された。

3. 秋季総会議題

高田庶務理事より資料10に基づいて、秋季総会における議題について説明が行われた。議題については特に問題なしとの判断で承認された。

4. その他

岡村氏より100周年記念出版に関して、現状の報告と今後の予定が口頭で報告された。現在のところ4巻（1, 5, 8, 15巻）が出版され、2巻が印刷中、まもなく入稿が2巻という段階とのこと。第1巻については現在3,400部ほど販売されており、順調に売れているという感触であることも紹介された。今後、遅れているいくつかの巻について更なる督促を行い、来年3月までの全巻刊行を目指す。また、この記念出版の財源となった寄付をして頂いた後藤氏のご遺族の方へ出版された書籍をお贈りする件について質問が出され、至急に対応をすることで了承された。

海部氏より学術会議の動きについて口頭で報告が行われた。若手人材育成の議論については、特にポストク問題が話題の中心で、8月に大阪で議論が行われること、それに向けて天文学会の協力が必要との要請があり、了承された。また、理科教育問題については、関係学会が集まって議論を続けている連合会に、天文学会が正式には入っていない点が問題であるとの指摘がなされ、また、議論の中で小学校で理科を教えられる専任の人が少ない等が問題点としてあがっていることが紹介された。天文教育委員会においても今後この点での活動を活発にし、具体的なアクションを起こすための議論を進めてもらいたい旨要請があり、了承された。

次回は秋季年会期間内、次々回は2008年1月26日（土）に東京駅の近辺での開催を予定することで合意された。

2007年8月2日

議長 中川貴雄

署名人 井上 一

署名人 郷田直輝